



石中だより

校訓 「 自主 練磨 協働 敬愛 」

花巻市立石鳥谷中学校
令和8年度校報
第5号
令和8年7月15日

吹奏楽部銀賞！県大会へ！

～吹奏楽コンクール中央地区大会～

7月5日（日）吹奏楽部にとっては大きな目標であった第64回岩手県吹奏楽コンクール中央地区大会がさくらホールで開催されました。

地道に練習に取り組んできたバンドは、コンクール中学生小編成の部、まとまりのある、音楽的に深みのある演奏を披露し、結果は銀賞となり県大会出場権を獲得しました。

県大会は7月31日（金）地区大会同様、北上市で開催されます。残り3週間、次の目標に向けて、さらなる向上を目指します。

本校吹奏楽部の素敵な演奏は、2学期以降、石鳥谷まつり、ジョイントコンサート、文化祭等、様々な機会に聞くことができます。吹奏楽部の皆さん、生徒職員、保護者、地域住民、楽しみにしていますよ。

賞状

銀賞

中学生小編成の部

花巻市立石鳥谷中学校

貴団体は第64回岩手県吹奏楽コンクール中央地区大会において頭書の成績をおさめたのでこれを賞します

令和8年7月5日

岩手県吹奏楽連盟 花巻支部長 和田 健利

花巻市中学校文化連盟 会長 村上 淳

男子200m（晴山銀士）

低学年男子リレー（藤原・佐藤・川上・桐生）

東北大会出場決定！

岩手県通信陸上大会

自己ベスト記録更新次々

6月27日（土）・28日（日）、ウエスタンデジタルスタジアムきたかみで、第72回全日本中学校通信陸上競技大会岩手県大会が開催されました。5月に行われた花巻地区大会を勝ち抜いた選手が本校から参加しました。

1年男子100mの藤原福太・佐藤蒼汰・前田景太、共通男子200mの晴山銀士、共通1500mの上川樹、低学年リレーの桐生悠仁・川上絢斗・佐藤・藤原等それぞれがほぼ自己ベストを更新する、緊張感のあるレベルの高い大会となりました。結果の詳細はマチコミでお知らせした通りですが、8月に山形県で行われる東北大会出場を決めた選手、惜しくもあと1歩で予選敗退だった人、自己ベストを更新できた人など、大会を通して、結果以上に心身ともに成長できたと感じています。次の目標に向けてコツコツ努力できる石中生に期待しています。



充実した夏休みに！

～石中75日間の1学期終了～

新入生95名を迎えてスタートした令和8年度、来週の三者面談、27日の終業式で75日間の1学期が終了します。保護者の皆さま、そして地域の方々の温かい見守りのお陰で、子ども達は日々の学校生活に専念することができました。心より感謝申し上げます。地震や天候不順、熊出没対応等変化の激しい現在社会のなかでも、始業式入学式以降、日々の授業をはじめ、修学旅行・体育祭・県市中総体・各学年各種行事等、計画していた教育活動が全て実施でき、大きな成果をあげることができました。

さて、28日からの夏休みを迎えるにあたり、生徒の皆さんには是非しっかりと自分の目標を見定めてほしいと思います。イソップ童話の「ウサギとカメ」の話は知っていることでしょう。自分の能力を過信し油断して寝ていたウサギが、**地道に一步一步**あるき続けたカメとの競争に敗れてしまう話です。ウサギは競争相手のカメばかりを気にし、「どうせ遅いのろまなカメだから」とつい油断してしまいます。一方、カメはウサギを気にせず山の頂のゴールに向かってひたすら歩き続け、勝利を手に入れます。ウサギとカメの勝敗を分けた理由は何でしょうか？それは「目標に対する考え方の違い」にあるのです。カメは**目標を見定め、地道に努力を続けた**ので勝つことができたのです。これが、「どうせ無理」「負けて当然」等々、途中でできなくても仕方ないと思ってあきらめたら、できることも絶対に達成することは不可能です。



1学期を振り返り、次のステージや2学期に向けて、明確な目標と決意を定める夏休みにしてほしいと切に願っています。そして、心密かに決意し、その実現に向かって一步一步努力を続けることができる石中生になってほしいです。イソップが教えてくれたカメのように…。 充実した夏休みを！

【石中コラム】

7月6日(月)17:00、下校後の誰もいない体育館入り口前で、石中生男子一人が、アスファルトに散らばっている石を拾っていました。近寄っていき「何してるの？」と声をかけたら、「体育館まわりの石ころがアスファルトにたくさん転がっていて、危険だと思ったから、拾ってかたづけているとのこと」。誰に言われたわけでもなく、通りかかって危ないからと自分で判断し、一人で片付けている中学3年生。

公共心の高い心優しい素敵な石中生です…。

